

金属加工11社連合

医療や航空宇宙関連 受注増目指す

金属加工関連の中小企業が国内外の受注獲得に向け連合を組む。板金加工の井口一世(東京・千代田、井口一世社長)が窓口になり、溶接や熱処理、塗装に強みを持つ11社で仕事を割り振る。金属加工の発注に一貫体制で対応できる仕組みを整え、成長分野の医療や航空宇宙関連分野を開拓。11社で2019年度に10億円の売上高をめざす。国の中小企業の支援プロジェクトの一環で連合を組んだ。製造部品のテラタイ(埼玉県人間市)や熱処理の多摩冶金(東京都武蔵村山市)のほか、ダイカスト(casting)部品を組み立て、メッキ処理、レーザーやプレス加工、熱処理、金型の設計を得意とする中小企業などで構成する。

各社の強みを生かし計から量産まで手がける。切削や溶接の加工を考慮した設計をするなど顧客により良い提案ができる。高度な技術が必要な医療や航空部の市場などを開拓する。すでに国内では受注しており、2月下旬にはソングポールでも営業活動を開始。米シリコンバームも訪れる予定だ。